

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の主な実績・効果等（令和3年度分）

実施計画年度	実施計画No.	実施計画事業名	事業の概要	課名	件名	合計				アウトプット		アウトカム	
						318,296,696	307,496,696	10,800,000	287,516,291	282,116,291	5,400,000	主な実績	効果検証 (内部評価)
						決算状況				うち、交付金充当			
総事業費	総事業費	翌年度繰越額	うち、交付金充当	うち、交付金充当	翌年度繰越額								
年度内進行実績 事業費	年度内進行実績 事業費	年度内進行実績 事業費	年度内進行実績 事業費	年度内進行実績 事業費	年度内進行実績 事業費								
R3	1	公共的空間安全・安心確保事業（その2）	公共施設における新型コロナウイルス感染症対策のため、衛生資材やパーティション等の購入を行いました。	消防総務課	新型コロナウイルス感染症対策物品購入	2,000,000	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0	①災害出動時の感染防止資材 感染防護服：12箱、シューズカバー：33,900足、アームカバー：1,000枚、手袋：11,600枚、メデイカルキャップ：2,200枚、フェースマスク：105個等 ②車両及び各種消防救急資機材等の消毒用液剤（359L）等	新型コロナウイルス感染症対策用資材を整備することにより、各種災害出動時の感染リスクの軽減及び庁舎における感染拡大防止につながった。
R3	2	子ども・子育て支援交付金	保育所等子育て支援施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ事業を継続的に提供するため、マスク購入等の感染拡大防止対策経費の補助及び物品の購入を行いました。	子ども未来課	地域子ども・子育て支援事業におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援	6,297,757	6,297,757	0	2,100,757	2,100,757	0	市内の私立保育園に補助金を支給した。また、公立保育園については、消耗品や備品購入に当たって、当該交付金を一部充当した。 補助金対象園：5件 交付金対象園：1件	地域子ども・子育て支援事業において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供することにより、各種災害出動時の感染リスクの軽減及び庁舎における感染拡大防止対策に必要な経費を補助することができた。
R3	3	保育対策総合支援事業費補助金	保育所等子育て支援施設において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ事業を継続的に提供するため、マスク購入等の感染拡大防止対策に必要な経費の補助及び物品の購入を行いました。	子ども未来課	保育所等におけるマスク購入等の感染拡大防止対策に係る支援	3,048,418	3,048,418	0	1,527,418	1,527,418	0	私立保育所3園、認定子ども園1園、学童保育所7か所、子育てサロン1か所に補助金を支給した。また、公立保育所、子育て支援センター及び当該の家庭児童相談係については、消耗品費に当該交付金を一部充当した。	保育所等において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供するため、マスク購入等の感染拡大防止対策に必要な経費を補助することができた。
R3	4	公立学校情報機器整備費補助金	コロナ禍において、教師の負担軽減及び児童・生徒への指導や教材研究等に注力できるよう感染症対策をサポートするスクール・サポート・スタッフの配置支援を実施しました。また、教育環境及び学習機会の確保のため、学習支援員を各学校に配置しました。	教育施設課	スクール・サポート・スタッフ配置事業（小・中学校）	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	3,996,000	0	小学校1校、中学校4校の計5校に述べ7人の消毒清掃員を配置した。また、消毒清掃員の業務に必要な手指消毒液を購入した。	小・中学校の感染拡大防止につながった。
				学校指導課	学習支援員配置事業（小・中学校） 【事業組替】	18,148,436	18,148,436	0	16,627,436	16,627,436	0	小中学校に勤務している支援員の勤務日数の増、教材研究や感染症対策をサポート。 勤務日数：120日/年→195日/年（75日分の増）	新型コロナ感染症の感染者の増加により突然の学級閉鎖等に対応するため、タブレット端末を使用した活動とは別に、またインターネット環境のない家庭向けにプリントの作成補助や集配など多岐にわたってサポートに入ってもらったことができ、学校生活における子ども達の心理的負担を軽減することができた。
R3	5	新型コロナウイルス感染症流行下における衛生・美化環境対策事業（その2）	新型コロナウイルス感染症流行下において、市民の環境衛生維持のためゴミ袋の配布を行いました。	環境保全課	家庭用ごみ袋無料引換券配布	28,456,026	28,456,026	0	28,456,026	28,456,026	0	交換協力店舗数：41店舗 郵送世帯数：20,509世帯 （うち宛先不明：94世帯） 実郵送世帯数：20,415世帯 引換券交換枚数：18,618枚 交換率：91.19%	生活必需品である家庭用指定ごみ袋を配布することで、市民の暮らしも環境における環境衛生美化と家計支援につながった。
R3	6	子育て世帯支援事業	新型コロナウイルス感染症による収入減少等に対する支援として小中学校児童生徒の保護者に対し、給食費助成を実施しました。	学校教育課	学校給食費支援事業	1,099,405	1,099,405	0	500,000	500,000	0	児童・生徒の給食費不足分を助成 対象者数：2,829人	子育て世帯の家計支援につながった。
R3	7	広報及び地域情報発信事業	テレビのデータ放送を活用し、新型コロナウイルス感染症及び災害等の緊急情報を発信するシステムを導入しました。	市長公室	テレビ地上デジタル・データ放送地域情報発信サービス事業	1,320,000	1,320,000	0	1,320,000	1,320,000	0	新型コロナウイルス感染症関連情報や不審者情報、議会日程、その他行政情報など約130件の情報掲載を行った。 とりわけ市民の関心が高い市内のコロナ感染者数については、開庁日には毎日更新を行い、常に最新の情報を提供した。	テレビを活用したコロナ関連情報の配信により、情報の伝達精度が高まり感染拡大防止につながった。
R3	8	緊急短期雇用創出事業（その2）	新型コロナウイルス感染症により、失業・収入減少等の影響を受けた求職者への支援として、雇用創出事業を実施しました。	産業振興課	緊急短期雇用創出事業	29,444,400	29,444,400	0	16,105,400	16,105,400	0	雇用決定者数：85人	新型コロナウイルス感染症により、失業・収入減少等の影響を受けた求職者への支援につながった。
R3	9	公共交通応援事業奨励金事業（その2）	公共交通事業者に対し、新型コロナウイルス感染症対策及び利用喚起のための環境整備支援を目的として、奨励金を支給しました。	都市計画課	公共交通応援事業奨励金	26,740,000	26,740,000	0	26,740,000	26,740,000	0	【補助対象期間】 令和2年10月1日から令和3年9月30日 【地域鉄道】 ・（上限）15,000千円 【路線バス】 ・（上限）10,000千円 【法人タクシー】 ・基本額200千円＋営業所登録車両数×10千円 【個人タクシー】 ・基本額100千円  申請事業者数 地域鉄道：1件 15,000千円 路線バス：1件 10,000千円 法人タクシー：4件 1,640千円 個人タクシー：1件 100千円	公共交通事業者に対して支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者減少等の影響を受けている中でも、事業を安定して継続していただき、市民の社会生活の要とも言える公共交通を守ることにつながった。
R3	10	地域経済回復のための商品券発行事業（その2）	新型コロナウイルス感染症により減退している市内の景気回復のため小売店対象のプレミアム付商品券を販売しました。	産業振興課	プレミアム付き商品券事業（プレミアム分）	59,801,693	59,801,693	0	59,801,693	59,801,693	0	プレミアム率30%の商品券を3万冊販売した。 販売総額（事業効果額）：390,000,000円	市内の消費喚起及び経済活性化につながった。
				産業振興課	プレミアム付き商品券事業（事務費）	698,307	698,307	0	698,307	698,307	0	商工会議所へ、商品券販売業務における新型コロナウイルス感染症対策に伴う事務費を支援した。 支援対象：1件	新型コロナウイルス感染症対策に伴う商品券事業販売業務における事務費の負担軽減につながった。

実施計画年度	実施計画No.	実施計画事業名	事業の概要	課名	件名	決算状況						主な実績	効果検証(内部評価)
						総事業費			うち、交付金充当				
						総事業費	年度内進行実績事業費	翌年度繰越額	うち、交付金充当	年度内進行実績事業費	翌年度繰越額		
R3	11	「新しい生活様式」の実現に向けた行政手続きのIT化事業(その2)	「新しい生活様式」の実現に向けた行政手続きのIT化事業の一環として、庁舎外でのフレキシブルな執務環境を整備するため、公共施設の一部をテレワークオフィス化しました。	企画課	総合会館複合化事業【財源充当】	37,444,000	37,444,000	0	37,444,000	37,444,000	0	総合会館ハピネスなかま内にサテライトオフィスを設置	新型コロナウイルス感染症の影響により業務の継続が困難となる場合のリスクに備え、分散して業務を行える体制を構築することができた。
R3	12	「GIGAスクール構想」の実現に向けたICT教育環境整備事業(その2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大といった事態が生じて子どもたちの学びの継続を確保できるよう、小中学校におけるICT教育を推進するため、下記事業を実施しました。 ・ロボットを活用したプログラミング教育 ・デジタル教科書導入 ・オンライン授業研修	学校教育課	プログラミング教育用ロボット活用事業(小学校)	1,339,800	1,339,800	0	1,339,800	1,339,800	0	小学校全校でプログラミング教育を実施 事業回数: 26回(6年生対象、13学級×2コマ)	GIGAスクール構想の実現に向けた小学校のICT教育の推進につながった。
				学校教育課	指導者用 デジタル教科書整備事業(中学校)	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	中学校全校にデジタル教科書を整備 デジタル教科書: 全学年対象、英語・数学・理科、校内フリーライセンス	GIGAスクール構想の実現に向けた中学校のICT教育の推進につながった。
				学校指導課	授業デザイナー研修(ICT活用)(小・中学校)	560,000	560,000	0	560,000	560,000	0	感染症対策のために実験や実習等に制限があるため、純正アプリを使い実験等に変わる深い学びのあり方について理解を深めるために、各学校のiPad活用推進者を対象に、「授業デザイナー研修」を年間3回実施した。 受講者数 ①リーダー向け研修 30人(1校1人×10校×3回) ②全教員向け研修 200人(1校20人×10校×1回)	「iPad活用推進プラン」の計画、実施や「授業デザイナー実践事例集」を電子ブックにまとめるなど、研修の成果を各学校に周知できたことにより、GIGAスクール構想の実現に向けた小中学校のICT教育の推進につながった。
R3	13	感染防止対策協力一時金事業	福岡県内の「感染防止宣言ステッカー」又は「感染症防止認証マーク」を取得し、かつ新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた市内事業所等に対して、給付金を支給しました。	産業振興課	中間市感染防止対策協力一時金	35,866,255	35,866,255	0	35,866,255	35,866,255	0	支給決定件数: 238件	新型コロナウイルス感染防止対策及び市内事業所等の事業継続支援につながった。
R3	14	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等生活支援事業	新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、感染者または濃厚接触者となり、外出できなくなった人などに対して、生活の継続に必要な支援を目的として食料品や日用品を無償で提供しました。	福祉支援課	新型コロナウイルス感染症自宅療養者等生活支援事業	5,250,000	5,250,000	0	1,620,000	1,620,000	0	食料品及び日用品等無償提供件数 ・陽性者...126名 ・濃厚接触者...192名 ・合計...318名(96件)	新型コロナウイルス感染拡大防止及び感染者並びに濃厚接触者の生活の支援につながった。
R3	15	新型コロナウイルス感染症対策物品購入事業	消防署隊員の救急出動時における感染防止対策として、心肺停止傷病者対応時の救急処置訓練が実施可能な高度訓練用用形や救急車用資機材等を整備しました。	消防総務課	新型コロナウイルス感染症対策物品購入事業	3,687,871	3,687,871	0	3,687,871	3,687,871	0	高度訓練用資器材一式及び感染症拡大防止対策を回りながら救急活動を行う上で不足する救急資器材を救急車両に整備 高度訓練用資器材(心肺停止傷病者対応): 一式	コロナ禍において、心肺停止傷病者に対する救急活動時の大きな感染リスクとなるCPR処置等の高度な訓練が実施できる環境が整備され、心肺停止傷病者対応時の感染リスクの軽減につながった。また、本来予備の救急車両に救急資器材を整備し、コロナ対応が可能な救急車として運用することにより、感染症拡大期における当市救急体制の強化につながった。
R3	16	学校保健特別対策事業費補助金	市内小中学校における新型コロナウイルス感染症対策のため、消耗品購入等に要する費用の支援を行いました。	学校教育課	学校教育活動継続に伴う感染症対策等支援事業(再追加配分)	1,147,528	1,147,528	0	574,528	574,528	0	小学校小規模校4校、中規模校2校、中学校小規模校3校、中規模校1校に対し合計574,528円を補助 主な購入品: 足踏み式消毒液スタンド3台、トイレマジックリン85本等	小中学校の感染拡大防止につながった。
R3	17	小中学校感染症対策環境整備事業	新型コロナウイルス感染症対策として、医療ケアを必要とする児童が在籍する特別支援学級を対象に、新型コロナウイルス感染症対策として常時換気できる環境を整えるため全熱交換器を設置しました。また、市内各学校の空調機等に設置するフィルターなどの感染症対策となるような物品を整え、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、環境整備に取り組みました。	教育施設課	小中学校感染症対策環境整備事業	1,117,000	1,117,000	0	1,117,000	1,117,000	0	中間北小学校の特別支援学級教室に全熱交換器を設置した。 市内各学校に空調機に設置するフィルターを配布した。 全熱交換器: 1機 フィルター設置場所: 小学校6校(配布枚数: 340枚)	学校の感染拡大防止及び環境改善につながった。
R3	18	中間市公共交通応援事業	新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を生じている公共交通機関に対し、3密を避けるための運行に協力する場合や、収束後の利用喚起のため便数や施設等の利用環境整備を行う場合における奨励金を支給しました。	都市計画課	中間市公共交通応援事業	14,170,000	14,170,000	0	14,170,000	14,170,000	0	【補助対象期間】 令和3年10月1日から令和4年3月31日 【地域鉄道】 ・(上限)7,500千円 【路線バス】 ・(上限)5,000千円 【法人タクシー】 ・基本額200千円+営業所登録車両数×10千円 【個人タクシー】 ・基本額100千円 申請事業者数 地域鉄道: 1件 7,500千円 路線バス: 1件 5,000千円 法人タクシー: 4件 1,570千円 個人タクシー: 1件 100千円	公共交通事業者に対して支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者減少等の影響を受けている中でも、事業を安定して継続していただき、市民の社会生活の要とも言える公共交通を守ることにつながった。

実施計画年度	実施計画No.	実施計画事業名	事業の概要	課名	件名	決算状況						主な実績	効果検証 (内部評価)
						総事業費			うち、交付金充当				
						総事業費	年度内進行実績 事業費	翌年度繰越額	うち、交付金充当	年度内進行実績 事業費	翌年度繰越額		
R3	19	中間市教育委員会指定管理施設感染拡大防止協力金給付事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令に伴い、本市が独自に行う休業要請を受けた教育委員会指定管理施設に対し、協力金を交付しました。	生涯学習課	中間市教育委員会指定管理施設感染拡大防止協力金給付事業	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0	国や県からの要請以上に休業などの対策を行った指定管理者に協力金を給付 対象施設数：2件	指定管理者の支援と感染拡大防止につながった。
R3	20	サテライトオフィス運用資材調達事業	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、業務の継続が困難となる場合のリスクに備えたサテライトオフィスの設置に伴う運用資材の調達を実施しました。	企画課	サテライトオフィス運用資材調達事業	3,495,000	3,495,000	0	3,495,000	3,495,000	0	総会館へのサテライトオフィス設置に伴う端末及びネットワーク環境を整備するための周辺機器購入 主な購入品：モバイルPC26台、タブレット14台、ディスプレイ3台、プロジェクター1台、Webカメラ1個等	新型コロナウイルス感染症の影響により業務の継続が困難となる場合のリスクに備え、分散して業務を行える体制を構築することができた。
R3	21	持ち帰りタブレットフィルタリングサービス	コロナ禍において、感染症対策のため接触機会を減少させながら教育機会を確保することを目的とし、個別最適化された家庭学習支援のためにタブレットの持ち帰りをする際、SNSや有害サイト等にアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを導入しました。	学校指導課	持ち帰りタブレットフィルタリングサービス (9月補正済み分への財源充当)	2,868,800	2,868,800	0	2,868,800	2,868,800	0	小学5～6年生、中学1～3年生の端末1,600台を対象にwebフィルタリングを導入。	新型コロナ感染症の感染拡大により学級閉鎖を余儀なくされるなど、子どもたちの学びに多大な影響が及ぶ中、児童生徒がフィルタリングソフトを導入したタブレット端末を持ち帰ることで、安全に自宅学習を行うことができた。また、タブレット端末を利用し児童生徒と学校にいる先生が顔を見て連絡を取ることができ、自宅学習への支援を行うことができた。
R3	22, 23	令和3年度第2次中間市公共交通応援事業	新型コロナウイルス感染症により経営に大きな影響を生じている公共交通機関に対し、3密を避けるための運行に協力する場合や、収束後の利用喚起のため便数や施設等の利用環境整備を行う場合における奨励金を支給しました。	都市計画課	中間市公共交通応援事業	12,500,000	12,500,000	0	12,500,000	12,500,000	0	【補助対象期間】 令和3年10月1日から令和4年3月31日 【地域鉄道】 ・(上限)7,500千円 【路線バス】 ・(上限)5,000千円 申請事業者数 地域鉄道：1件 7,500千円 路線バス：1件 5,000千円	公共交通事業者に対して支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大により利用者減少等の影響を受けている中でも、事業を安定して継続していただき、市民の社会生活の要とも言える公共交通を守ることに繋がった。
R3	24	学校保健特別対策事業費補助金	令和4年度繰り越し事業のため効果検証対象外	学校教育課	学校教育活動継続に伴う感染症対策等支援事業 (R4年度への繰越事業)	10,800,000	0	10,800,000	5,400,000	0	5,400,000	※令和4年度繰り越し事業のため効果検証対象外	※令和4年度繰り越し事業のため効果検証対象外